



住む人支え 来る人迎える 豊かな里と海のまち

NEWS (PRESS) RELEASE

平成30年4月25日

志摩市教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

タイトル	国登録有形文化財登録証授与式を行います
概要	平成30年3月27日付官報告示にて、国の登録有形文化財として登録されました志摩市阿児町神明地区にある、 ・旧猪子家住宅主屋（きゅういのこけじゅうたくしゅおく） ・旧猪子家住宅土蔵（きゅういのこけじゅうたくどぞう） ・旧猪子家住宅門柱（きゅういのこけじゅうたくもんちゅう） について、文化庁より登録証が授与されました。 今回、この登録証を文化財の所有者にお渡しする為の授与式を執り行います。
開催日	平成30年5月1日（火）
開催時間	15：00～15：45
開催場所	志摩市役所5階 庁議室
主催	
後援	
協賛	
その他	
参考HP	
お問合せ先	志摩市教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 担当 山下・三好・松井 TEL 0599-44-0339 FAX 0599-44-5263 e-mail ky-sgakuspo@city.shima.lg.jp



住む人支え 来る人迎える 豊かな里と海のまち

○「旧猪子家住宅」概要

【名 称】旧猪子家住宅主屋（きゅういのこけじゅうたくしゅおく）	1 棟
旧猪子家住宅土蔵（きゅういのこけじゅうたくどぞう）	1 棟
旧猪子家住宅門柱（きゅういのこけじゅうたくもんちゅう）	1 基
【所 在 地】志摩市阿児町神明	
【年 代】主屋：昭和 9 年 / 昭和中期・平成 27～29 年改修	
土蔵：昭和 9 年、門柱：昭和 9 年	
【建築面積】主屋：95.2 m ² 、土蔵：19.8 m ² 、門柱：間口 3.0 m	

旧猪子家住宅は、明治 13 年に四国で生まれ、保険会社の各地の支店長などの要職を歴任した猪子彌平（いのこやへい）氏の退職後の住居として、昭和 9 年に英虞湾（あごわん）を見下ろす高台の南斜面に建築された住宅です。

主屋は木造平屋建てで、張り出した玄関と台所部のそれぞれに入母屋の屋根を架け、変化に富んだ外観となっています。内部には、床の間・付書院（つけしょいん）・松竹梅などの彫刻を施した欄間（らんま）を持つ和室と、漆喰塗壁（しっくいぬりかべ）・漆塗り仕上げの格天井（ごうてんじょう）の洋間である旧書斎などがあり、和洋の上質な意匠を併せ持っています。第二次世界大戦後に伊勢志摩国立公園となり、保養地としての利用が進むこの地域の和洋折衷の建物の先駆けとして、造形の規範となる建物です。

主屋の西には、2 階建てで寄棟（よせむね）屋根の土蔵が主屋に面して建っています。敷地西面に建つ門柱は、主柱（おもばしら）の上に笠石（かさいし）を載せ、側面を瘤出（こぶだ）し仕上げとした重厚なもので、街路の歴史的景観に良好な影響を与えています。





住む人支え 来る人迎える 豊かな里と海のまち

○国登録有形文化財について

・国登録有形文化財とは、平成 8 年 10 月 1 日に施行された文化財保護法の一部を改正する法律によって、保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度です。

この登録制度は、近年の国土開発や都市計画の進展、生活様式の変化等により、社会的評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様かつ大量の近代等の文化財建造物を後世に幅広く継承していくために作られたものです。届出制と指導・助言等を基本とする緩やかな保護措置を講じるもので、従来の指定制度（重要なものを厳選し、許可制等の強い規制と手厚い保護を行うもの）を補完するものです。

志摩市内では、建築物で「中六店舗」、「大王埼灯台・門柱及び塀」、「安乗埼灯台」、「神武参剣道場」が、有形民俗文化財では「志摩半島の生産用具及び関連資料」が登録されています。

○竹内氏が旧猪子家にかかわる経緯について

・竹内夫妻が 4 年ほど前に、不動産で旧猪子家が売りに出ていることを親族から教えてもらったそうです。実際に現地を確認すると、とても古い家で竹林がうっそうと生い茂り、ジャングルのようになっていたそうです。

しかし、竹内氏は、その時この土地を整備すれば、志摩市にとって貴重な資源になると直感で感じ取られたとのこと。志摩市全体のことを考えた時、観光などの一過性のイベントではなく、今後継続して志摩市の魅力を発信していくための場所になる、20 年後あるいはもっと先を見据えたときに、重要な場所になると確信し、購入を決心されたそうです。

これまで竹内夫妻と繋がりがあった東原達也氏、六浦基晴氏に修繕・設計の依頼を行いました。また、東原氏長男・六浦氏の伝手で集まった、若手建築家たちも一緒になって旧猪子家全体の設計について意見を交わし、在りし日の猪子家の姿に思いを巡らせました。

建築士、設計士、地元職人など様々な分野の多くの専門家たちが、旧猪子家の再生に携わられたそうです。今後は建築を核として、文化や民俗学、昆虫、地質、歴史など様々な交流の場所にしていけたらと考えていらっしゃるそうです。

○旧猪子家活用プロジェクトの活動記録

・2014 年 4 月 23 日～24 日 猪子家調査 m5_architecte 一級建築士事務所
敷地内の建屋(主屋・蔵)及び、森林・竹林部の調査

・2014 年 8 月 15 日 ニコモプロジェクト始動
地域活性化と猪子家の活用を軸に「ニコニコの森プロジェクト」がスタート



住む人支え 来る人迎える 豊かな里と海のまち

- ・ 2014 年 9 月 9 日～10 月 15 日 蔵修繕工事
向井瓦工業・佐藤左官・田中板金工作所
瓦の葺き直し、破風漆喰塗り直し、軒樋補修調整
- ・ 2014 年 9 月 18 日～2017 年 7 月 31 日 母屋修繕工事(外部)
東原建築工房・大工棟梁竹内氏・向井瓦工業・佐藤左官・田中板金工作所・川添電気工事
玄関屋根復元と壁柱補修、大屋根瓦補修、外壁板貼り補修、樋補修、外部電気配線、
建具取付
- ・ 2015 年 5 月 27 日～2017 年 7 月 31 日 母屋修繕工事(内部)
東原建築工房・大工棟梁竹内氏・佐藤左官・川添電機工事
三和土施工、床下腐朽箇所修繕、内壁仕上げ、電気配線工事、建具調整、台所改修、
家具工事
- ・ 2015 年 10 月 31 日 蔵所蔵書物の虫干しワークショップ
作家の井沢元彦氏をお招きし、蔵の所蔵品を虫干し
- ・ 2016 年 5 月 15 日 土壁ワークショップ、竹小舞のライトアップ
オーナー、設計等関係者が職人と共に竹小舞を編み、練り直した土を使い荒壁を修
繕。夜にはライトアップを行った。
- ・ 2016 年 6 月 4 日～5 日 クラフトデザイナー中部 平成 28 年度総会
志摩での芸術文化交流の一環として、アコヤ貝細工体験会を猪子家建屋を活用し開催
- ・ 2016 年 9 月 17 日 ヘリテージマネージャー入門講座
三重大学工学研究科建築学専攻 菅原洋一氏・志摩市教育委員会生涯学習スポー
ツ課・三重県建築士会
志摩における歴史的建築物や町並みの保全、またそれらの分析した調査内容を講習
- ・ 2016 年 10 月 5 日 地学者で「海が作った風景」の著者、三輪主彦がご夫婦で来訪
アーティストブック「志摩という国」の作成協力にあたり、猪子家を視察
- ・ 2016 年 12 月 6 日 文化財登録について志摩市教育委員会が現地視察を実施
- ・ 2017 年 4 月 16 日 旧猪子家見学と志摩クリエイタズオフィスの活動視察
- ・ 2017 年 4 月 1 日 三和土ワークショップ 佐藤左官 佐藤 重美氏 ほか
台所と玄関の三和土を施工
- ・ 2017 年 7 月 22 日 樹木調査 草木染工房「遊」林田 雄治氏
猪子家敷地内に分布している樹木を子供たちと調査を実施